

※2021年5月2日～2023年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	まえかわ ただお 前川 督雄	職名	教授（博士（工学））
専門分野	情報環境学、感性情報学		
所属学会	映像情報メディア学会、日本音響学会、日本バーチャルリアリティ学会、環境科学会、民族芸術学会		
担当科目	入門演習Ⅰ・Ⅱ・a、メディアリテラシー、文化論、Webプログラミングa、環境情報学概論Ⅰ・Ⅱ、基礎演習a・b、専門演習a・b・c・d、脳・音・光の科学Ⅰ・Ⅱ、生命－情報－環境、音楽とまちづくり、次世代メディア社会、メディア情報産業論、データサイエンス序論、映像概論（一部）、資源循環論		
I 教育活動			
	教育実践上の主な業績	概	要
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）	<p>1) 環境科学・情報技術・メディア表現を連携して学び、各領域それぞれに加えて複合領域・境界領域で活躍できる人材を育成する新カリキュラムを、学部教務主任として学部教員皆さんとともに設計・構築した。（2023年度入学生から開始）</p> <p>なお、新カリキュラムは、2019年に学長から諮問されて、関係教職員で組織した〈ICTメディア教育検討チーム〉において「四日市大学における魅力あるICTメディア教育の在り方」を検討してきた成果が基盤のひとつとなっていることを注記する。</p> <p>2) 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に対応した教育プログラムを、全学教学委員として関係教職員の協力を得て編成・開始した。2022年、三重県私立大学のなかで最初の認定を受けた。</p> <p>3) 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）」の申請準備を進めている。</p> <p>4) コロナ禍のため中断していた、マイクロソフト・オフィス・スペシャリスト（MOS）試験の学内実施を再開する準備を、全学教学委員として関係教職員の協力を得て進めている。</p> <p>5) メディア情報分野の卒業研究・卒業制作発表会において、Youtubeライブ配信を実現した。（2023年）</p> <p>6) 学内で担当する各講義・演習において、学生が主体的に参加するアクティブ・ラーニングが実現するよう工夫し、AVコンテンツを多用したアトラクティブなプレゼンテーションを工夫した。</p> <p>7) 留学生1年生の導入教育として、日本語講義の理解を助けるための工夫や数学補助教育を行った。</p>		
2. 作成した教科書、教材、参考書	<p>1) 情報技術を用いたメディア表現の教育環境として、デジタルスタジオを構築した。改良・拡張を進めている。</p> <p>2) 学内で担当する講義・演習の各教材作成・改訂を行った。</p>		
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	なし		
4. その他教育活動上特記すべき事項	メディアを用いた教育は、長時間・長期間にわたる人工的な視聴覚情報への曝露を導く。人工的な視聴覚情報は生理的・心理的な安全性が保証されていない。教育への活用を目的のひとつに「メディア情報が脳に及ぼす影響」の研究を進めている。		

II 研究活動					
論文					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
Impulse Response Utility による残響計測 菰野町民センター大ホール の残響調査	共著	2022年3月	四日市大学論集 34巻2号	柳澤翔士、前川督雄	359-374頁
Perception Neuron2.0を用 いた慣性式モーションキャ プチャシステムの利用	共著	2022年10月	四日市大学論集 35巻1号	柳澤翔士、前川督雄	85-103頁
外部資金					
資金名	助成期間		課題名等		
三重県私立大学高専協会 教育研究費助成	2022年8月～ 2023年3月		メディア表現・情報技術の境界領域における先進メディアを用いた 教育環境の開発		
III 社会における主な活動					
役員・委員等					
2015年8月～2023年3月		国立精神・神経医療研究センター神経研究所客員研究員			

芸術分野や体育実技等の分野を担当する教員

氏名	まえかわ ただお 前川 督雄		職名	教授（博士（工学））
展覧会・演奏・競技会等の名称	場所	開催日	発表・展示等の内容等	
芸能山城組 AKIRA 公演 「逢燦杰極譚」（あきらじえごぐだん）	なかの ZERO 大ホール （東京都中野区）	2021年5月 29日	映画「AKIRA」（1988年公開）のために作曲・演奏した「交響組曲 AKIRA」の楽曲を中心に、その音世界をライブ空間に顕現する公演を行った。 コロナ禍のなか、感染が比較のおさまっているタイミングで、感染防止対策を万全に行って実施した。	
Bali World Culture Celebration 2022 (BWCC 2022)	インドネシア 共和国バリ州 デンパサール (映像参加)	2022年6月 24日から公開	インドネシア共和国バリ州で毎年開催されている芸術祭（Bali Art Festival）の Bali World Culture Celebration 2022 に、招待を受けて映像参加した。「The New Dimensions of Gamelan Bali “AKIRA 2022” BWCC Special Version」 https://www.youtube.com/watch?v=IN25N7uR0hU	
芸能山城組 AKIRA 公演 「逢燦杰極譚 II」	なかの ZERO 大ホール （東京都中野区）	2022年10月 8日	2021年秋公演「逢燦杰極譚」の好評を受けて、「交響組曲 AKIRA」の楽曲を中心に、その音世界をライブ空間に顕現する公演を行った。 感染防止対策を万全に行って実施した。	
TV 番組「音チクコンサート」 （協力出演）	テレビ朝日	2023年3月 11日放映	インドネシア共和国バリ島のケチャをテーマとした番組中で、実演・説明を行った。	